

令和元年度 基本事業評価シート（平成30年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 06 社会保障の健全運営
基本事業 02 後期高齢者医療制度の健全な運営
主管課： 国保年金課
関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
後期高齢者医療被保険者	茨城県後期高齢者医療広域連合と連携し、高齢者の医療サービスの維持・向上に努める。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

後期高齢者医療保険料の現年度収納率（％） 国保年金課					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
99.70	99.56	99.57	99.70	99.70	99.70
向上指針	上がると良い	（状況）昨年度比で0.01ポイント向上しましたが、目標値には達成しませんでした。 （原因）口座振替の積極的勧奨に努めたため、口座利用割合が僅かですが増加しました。保険料の納付は被保険者全体の約6割が特別徴収（年金からの天引き）で収納率は100％、残りの4割が普通徴収となり、そのうち6割が口座振替を利用しています。			
対前年度	向上				
目標達成度	高				
次年度課題	課題としない				

1人当たり医療費（後期高齢者医療制度）（年間）（円） 国保年金課					
基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
850,367.00	868,303.00	836,603.00	880,000.00	880,000.00	895,367.00
向上指針	下がると良い	（状況）1人当たり医療費は、昨年度よりも31,700円低くなりました。 （原因）昨年度と比較し、全体の医療費は増加していますが（3.6％増）、被保険者数の増加割合（7.5％増）の方が高いため、1人当たり医療費の額が下がったと考えられます。また、調剤の費用が昨年度より抑えられており、ジェネリック医薬品の使用促進の効果も一因と考えられます。			
対前年度	向上				
目標達成度	達成				
次年度課題	課題としない				

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値（H26）	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	決 算	決 算	決 算	予 算	見 込
事業費合計	860,587	933,315	1,029,554	1,027,669	1,027,689
人件費	11,447	1,349	4,997	0	0
トータルコスト	872,034	934,664	1,034,551	1,027,669	1,027,689

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

保険料が普通徴収の方への口座振替推奨や、積極的な滞納整理（電話催告や訪問）による収納率の向上に努めます。 また、1人当たりの医療費は国保の2.7倍であり、今後、団塊の世代が後期高齢者医療保険に移行すると、医療費負担の増加が懸念されます。 引き続き、ジェネリック医薬品の使用促進や健康診査の積極的勧奨及び保健事業に取り組み、医療費の抑制に努めてまいります。	推進状況	順調
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	維持

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]